

ウォン・ウィンツァン ピアノソロ・コンサート ～瞑想のピアニスト 「奇跡のピアノ」を弾く～

「山口啓介 原一ききとり」展に寄せて、ウォン・ウィンツァンが東日本大震災の津波から復活した「奇跡のピアノ」を、祈りを込めて演奏します。ウォンのピアノが山口の作品と共鳴し、美術館を妙なる時空に彩ります。

出演 **ウォン・ウィンツァン** (ピアニスト)

日時 **11月7日(土)** 15:30～16:30

会場 1階ロビー

参加無料

Wong Wing Tsan

ウォン・ウィンツァン

NHK「にっぽん紀行」やEテレ「こころの時代」のテーマ音楽でも知られるピアニスト、作曲家、即興演奏家。1949年神戸にて、香港出身の父、日本と中国のハーフの母との間に生まれ、1歳より東京で育つ。19歳からプロとしてジャズ、フュージョン、ソウル、前衛音楽を演奏。1987年に瞑想の体験を通して自己の音楽の在り方を確信し、90年よりピアノソロ活動を開始。92年にインディーズレーベル「サトフミュージック」を発足。ファーストアルバム「フレグランス」がFMから火がつきロングセラーに。以後、「Doh Yoh」「Asian Doll」「九楽溝」「光の華」など30タイトル近くのCDをリリース。

コンサート、とくに即興演奏では、音の力でオーディエンスの深い意識とつながり、静寂な音空間を創りだしてゆく。超越意識で奏でる透明な癒しの音色で「瞑想のピアニスト」と呼ばれている。

対 談

「科学と芸術の汀 “自然”と“人間”」

科学者と芸術家が、それぞれの立場から、生命、自然、人間が重ねてきた時間について、そして未来について語ります。
科学と芸術の汀(みぎわ)に描きだされる、新たな世界を望みます。

日時 **12月6日(日)** 13:30～15:00

場所 セミナー室

講師 **中村桂子**(JT生命誌研究館館長) × **山口啓介**(作家)

定員 **40名**

入場
無料

応募方法 はがき、またはFaxで下記まで
〒970-8026 いわき市平字堂根町4-4
Fax.0246(25)1115
「山口啓介展・対談」係

申し込み締め切り **11月21日(土)**

※応募多数の場合は抽選

なかむら けいこ 中村 桂子

1936年東京都生まれ。東京大学理学部化学科卒。同大学院生物化学修了(理学博士)。国立予防衛生研究所研究員、三菱化成生命科学研究所人間・自然研究部長、早稲田大学人間科学部教授、東京大学先端科学技術研究センター客員教授、大阪大学連携大学院教授などを経て、1993年から2002年3月までJT生命誌研究館副館長。現在JT生命誌研究館館長。

『生命科学者ノート』(岩波現代文庫)、『自己創出する生命』(ちくま学芸文庫) (第47回毎日出版文化賞)、『科学者が人間であること』(岩波新書)など著書、受賞多数。



山口 啓介

やまぐち けいすけ

1962年兵庫県生まれ。1985年武蔵野美術大学卒業。版画、立体、絵画、インスタレーションなど多様な表現を展開。1992年～93年ニューヨーク、フィラデルフィア、1995年～97年デュッセルドルフに滞在。現在、東京と兵庫で制作、在住。主な個展に、2002年「植物の心臓、宇宙の花」(西宮市大谷記念美術館)、2003年「空気柱、光の回廊」(高崎市美術館)、2005年「いのちを考える 山口啓介と中学生たち 粒子と稜線」(伊丹市立美術館)、2007年「睡蓮の地球図」(国際芸術センター青森)などがある。

当館においては、2012年カセットプラント・ワークショップを開催、2013年には多くのボランティア、観客を巻き込み「震災後の世界」について考えるhakobuneプロジェクトを展開した。